



## うれしかった対応



車いすを押して移動している際、エレベーターや通路のドアが閉じないようにしてくれたこと。

「何かお手伝いしましょうか？」と声をかけてくれたこと。特にお手伝いいただくことがなく「ありがとうございます。大丈夫です」と返事をしましたが、有難かったです。



目が見えなくなって、人と話す機会が増えました。

バス停に行って「最後尾はどこですか」と聞いたら、最後尾まで連れて行ってくれる人もいます。

ヘルプマークを付けて電車に乗っていたとき、大学生くらいのお兄さんが席を譲ってくれました。

嬉しかったです。



手話で「ありがとうございます」と挨拶してくれる店員や駅員、公共施設の職員等が増えました。

手話が広がってきていると実感しており、大変嬉しく思います。

うちの子がお世話になっている床屋さんでは一人ひとりの特性に合わせて対応を工夫してくださっているので、市外の方もたくさん通っています。

例えば、うちの子には「次は何をするのか」きちんと話してください。最近では、「次は何をするの？」と聞いてくださり、本人が「カミソリ」「シャンプー」などと応えたりしています。「何をするのか」が分かることが本人の安心に繋がるので、とても助かっています。



息子が通所先にモノレールを使っていた頃のことです。夕食の準備をしていた時にチャイムが鳴り、ご婦人が「ご自宅前のマンションに住む〇〇です。仕事から帰りのモノレールで時々息子さんと一緒になります。いつも同じ桜木駅で降りるのですが、今日はみつわ台駅で降りていきました。息子さんは大丈夫でしょうか？と気になりお知らせにまいりました」と。

「息子を気にかけている方が近所にいる、世の中は捨てたもんじゃない」とすごく嬉しかったです。

## 第26回千葉市障害者福祉大会

令和6年12月7日(土)  
ハーモニープラザ多目的ホール

### 9:40 オープニング

開会宣言：大会実行委員長 高梨 憲司  
主催者挨拶：千葉市長 神谷 俊一  
来賓挨拶：千葉市議会議長 石川 弘

### 9:55 市政功労者紹介

市政功労者 平岡 利政

### 10:00 体験作文・ポスター最優秀者表彰

『心の輪を広げる体験作文』 千葉市立院内小学校 白石 虎鉄  
千葉市立泉谷中学校 菅蒲川祐翔  
一般区分 吉野 晴翔  
『障害者週間のポスター』 千葉市立鶴沢小学校 小幡 莉香  
千葉市立千城台西中学校 鈴木 玲衣

### 10:15 スポーツ大会出場選手紹介

第23回全国障害者スポーツ大会〈佐賀大会〉 千葉市代表選手

◇ 休憩 ◇

### 10:45 体験・実践発表

「腎臓移植をして今思うこと」 千葉市腎臓病患者友の会 吉田 道子

### 11:00 演奏・演技発表

「手話ダンス」 ダウン症を持つ子と親の会 シュピター

### 11:20 講演会

「あなたの味方は絶対にいるから」 音楽家 秦 万里子

### 12:20 閉会

閉会宣言：千葉市ことばを育てる会会長 石田 優子

(以上、敬称略)

# 千葉県障害者団体の紹介

## 身体障害者福祉会

身体に障害のある者同士がお互いに助け合い、また助言をし合い、一日でも早く自立ができるように各地区に役員を配置。相談活動・行事開催・情報提供等きめ細かく行っている団体です。テニス、グラウンドゴルフ、ポッチャ、フライングディスクや卓球の他、福祉バス「たいよう号」を利用し日帰り地区会を開催。またカラオケなどのサークル活動を通して仲間との絆を深めています。18歳以上で身体障害者手帳をお持ちの方の入会・ご紹介をお待ちしています。

## 特定非営利活動法人 視覚障害者協会

視覚に障害を負っても、一日も早く自らが望む日常生活を取り戻すことが大切です。当協会では行政の委託を受けるなどして、ハーモニープラザにて毎週の木曜日に中途失明者相談室を、火曜日には予約制で個別相談を行っています。ご本人だけでなくご家族や支援者からの相談にも応じています。また、自立と社会参加を願い、訪問による各種の訓練（白杖歩行、点字、拡大読書器やスマホの使用方法など）のほか、種々の生活相談にも対応しています。

仲間作りをとおして手芸やスポーツ教室、バス旅行などで交流を深め、新たな人生を取り戻した会員が多くいます。一人で悩まずにぜひご相談ください。また、一緒に活動して下さるボランティアも募集しています。あなたにとって人生の再発見になるかもしれませんよ。気軽にご連絡ください。

## 聴覚障害者協会

聴覚や言語に障害を持つ人たちの団体です。手話や筆談などのあらゆるコミュニケーション手段で、交流を図っています。年間行事（手話まつりや一泊旅行など）は、手話を学んでいる人たちと共に企画し、活動をしています。また、千葉市から委託を受けて手話奉仕員や手話通訳者の養成講座を開いて、手話通訳者を育てています。このように、聞こえない人たちが社会参加しやすくなるような環境づくりを目指して、仲間で力を合わせながら頑張っています。

仲間を作りたい聞こえない人がいましたら、ぜひ当協会をご紹介ください。

## オストミー協会

オストメイト（人工肛門・人工膀胱）保有者が、社会復帰と福祉の向上を図るために集まってできた団体です。あなたはオストメイトになって、いろいろな悩みを一人で抱えていませんか。あなたの悩みを仲間に相談することで気持ちが和らぎ、次のステップに踏み出すきっかけにもなります。多くの仲間があなたのご入会をお待ちしています。

## 腎臓病患者友の会

私達は透析患者を中心とした腎臓病患者の団体です。会を結成以来、腎臓病患者の医療と生活の向上を目的に活動しています。具体的には腎臓病治療に関する研修会や相談会を開催したり、会員の親睦のためにバス旅行や食事会等を開催し交流を深めています。また腎臓病の恐ろしさを一般市民の皆様理解していただくために毎年、講演会を開催しています。

## ことばを育てる会

難聴や吃音、口蓋裂、発音不良など、ことば・きこえの発達に困難や心配な子を持つ親の集まりです。親子で楽しむレクリエーションなどの交流により、悩みや不安を共に解決し、子供たちのより良い環境づくりを支援しています。また年に一度「ことばの相談会」を開催して個別相談を受けています。

## 肢体不自由児者父母の会

昭和33年、肢体不自由児者の親の会として発足しました。

子どもたちが高齢化・重度化・障害の多様化するなか、親も研鑽を重ねながら活動し、「ディアフレンズ美浜」に続き「ディアフレンズ大宮」「グループホーム春陽苑」も開所されました。

これからも肢体不自由児者が中心に利用できる日中活動や住まいの場作りをめざして活動していきます。皆さまの入会をお待ちしております。

## 重症心身障害児(者)を守る会

重度の肢体不自由と知的障害が重複している重症心身障害児者の親の会です。

重症児者には医療的ケアを必要とする人が多くいます。「もっとも弱い者を一人ももれなく守る」という会の理念のもと、指定生活介護事業所『さいわい』を拠点として、地域の皆さんの理解や、支援の輪を広げるため活動をしています。

## 手をつなぐ育成会

知的障害児者の親の会として、昭和30年に発足しました。

幼児期から高齢期まで幅広い人たちがいますが、一人ひとりのライフステージに合わせた暮らしの実現を目指して活動しています。知的障害のある人とその家族が安心して暮らしていけるように、地域の方々の理解と共生する社会づくりに向けて、様々な取り組みをしています。

## 自閉症協会

自閉スペクトラム症（ASD）の人は、コミュニケーションや社会的なやり取りに困難を抱えており、こだわり行動があるのもその特徴の一つです。また、「感覚過敏」の特性があり、音や光・臭覚・触覚・味覚などの感覚が過剰に敏感です。一方で、痛覚（痛み）の反応が弱く、骨折していても普通にしていることもあり、注意が必要です。私たち自閉症協会は、ASDの理解と啓発、ASDの人とその家族の自立と社会参加を目指して活動しています。

## 特定非営利活動法人 千家連

精神障害者と本人を支える家族が、地域で自分らしく生活するためにより良い環境作りを目指し、市内の家族会が連携・協力しています。

主に、会員相互の交流・学び合い、啓蒙啓発、社会福祉関連行事への参加・協力などの活動を行っています。家族以外の市民の皆さまの入会も歓迎します。